

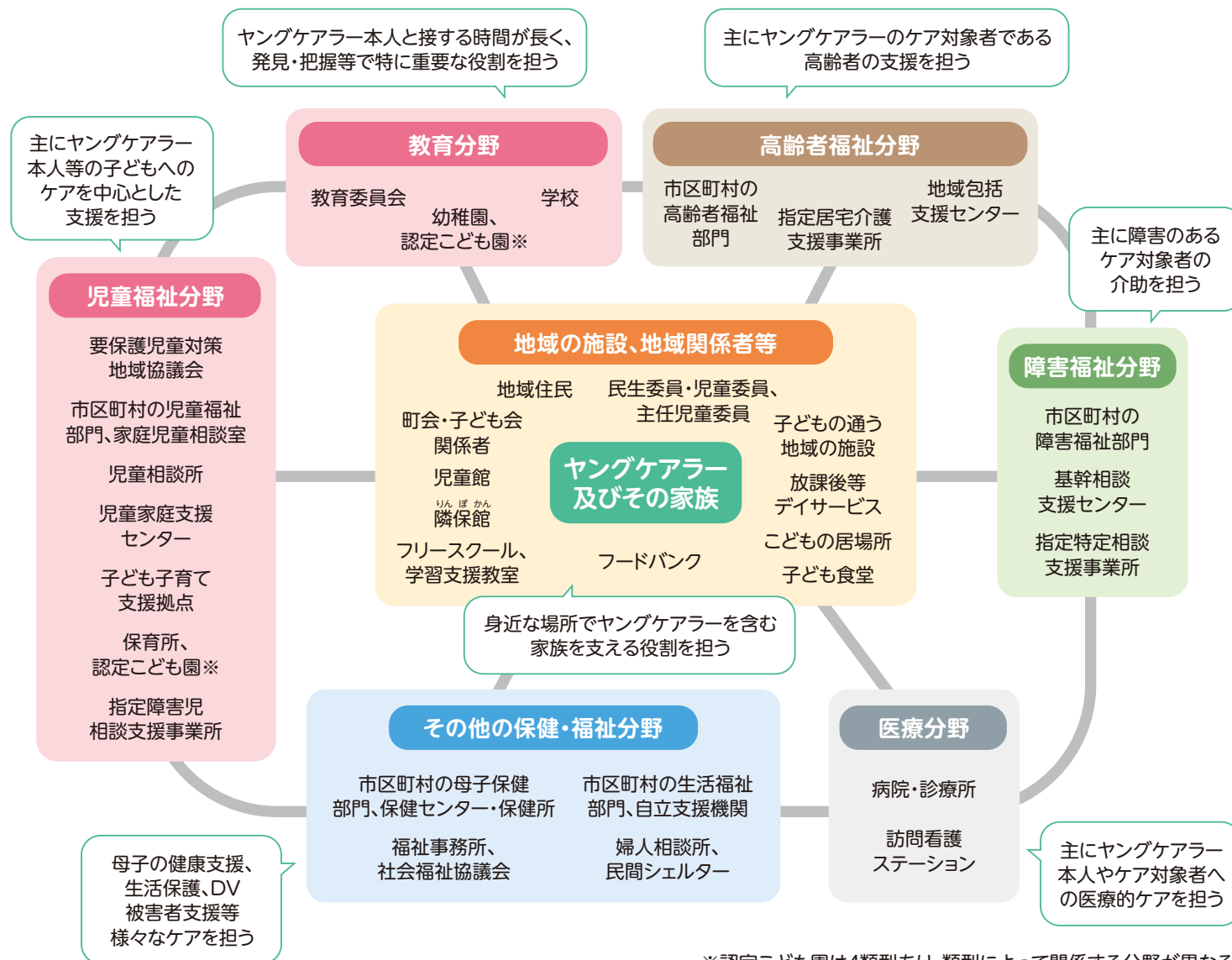
負担軽減につながるサービスの例

- きょうだいの世話をしている場合
 - ・ファミリー・サポートセンターの利用
 - ・保育所の利用調整 等
- 学習支援が必要な場合
 - ・教育支援センターや子どもの居場所
 - ・フリースクール等の利用
- ケアの対象者に障がいがある場合
 - ・居宅介護や訪問看護の利用
 - ・施設入所 等
- 共感できる相手を求めている場合
 - ・ヤングケアラー同士のピア・サポート
 - ・オンラインコミュニティ

ヤングケアラー及びその家族を支える連携

ヤングケアラーの援助には「家族まるごと支援」が求められています。

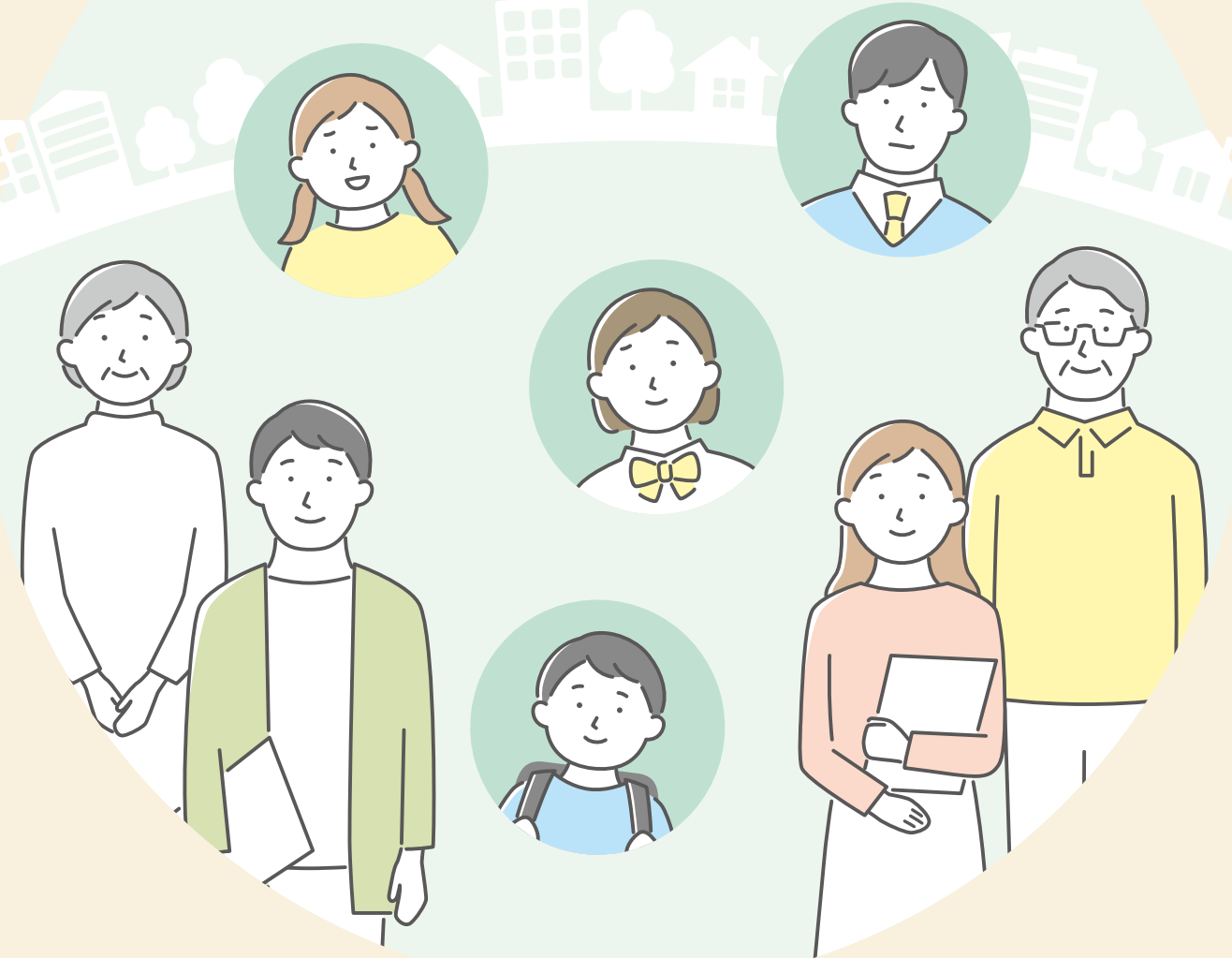
そのためには、地域の施設、地域関係者等とともに、教育分野、児童福祉分野、高齢者福祉分野、障害福祉分野、医療分野、その他の保健・福祉分野、各領域の分野が連携して支援するネットワークが重要です。



※認定こども園は4類型あり、類型によって関係する分野が異なる
令和4年3月「多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル」(有限責任監査法人トーマツ)をもとに作成

ヤングケアラー

～理解と支援のために～



京都府ヤングケアラー総合支援センター

.....主な業務.....

- 1 ヤングケアラーの相談支援
- 2 広報啓発
- 3 関係機関とのネットワーク構築
- 4 オンラインコミュニティの開設・運営

連絡先

TEL : 075-662-2840

開設時間：毎週月曜日～土曜日 10:00～18:00

メール相談：ycarer@pref.kyoto.lg.jp



HP



アセスメント
シート



子ども向け
チラシ

ヤングケアラーの実態

最近、「ヤングケアラー」という言葉をよく耳にするようになりました。

ヤングケアラーについては、まだ日本では明確な定義はありませんが、一般的に家族などのお世話や見守り、家事などを日常的に行っている子どもとされており、それが重い負担になって学校生活や日常生活に支障がでたり、本人の心身に不調をきたすことがあります。

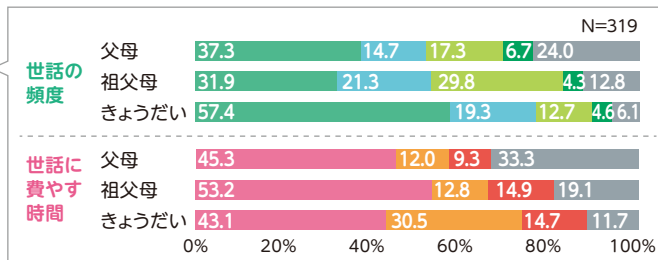
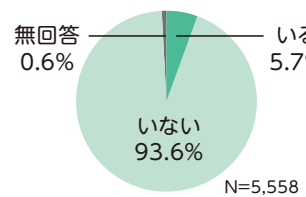
子どもが子どもらしく、安心して暮らせるよう、気になる子どもがいたら、一人で頑張らなくて良いことを伝え、関係機関が連携・協力してサポートしましょう。

京都府ヤングケアラー総合支援センターも一緒に考えますので、気軽にご相談ください。

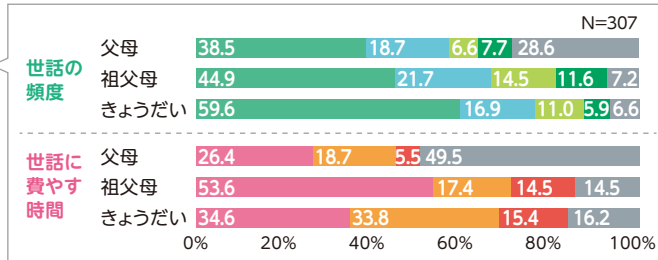
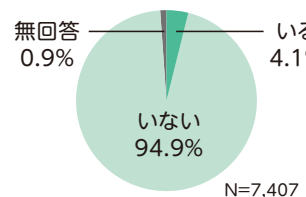
令和2年度に厚生労働省が全国で実施した実態調査結果では、中学2年生の5.7%、全日制高校2年生の4.1%が「家族の世話をしている」と回答しています。そのうち「ほぼ毎日」と答えた生徒が3～6割程度、平日1日に世話に費やす時間が7時間を超える生徒が1割程度もいました。

出典：令和3年3月「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

中学2年生



全日制高校2年生



世話の頻度
世話に費やす時間

■ほぼ毎日 ■週に3～5日 ■週に1～2日 ■1カ月に数日 ■その他・無回答

■3時間未満 ■3～7時間未満 ■7時間以上 ■無回答

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



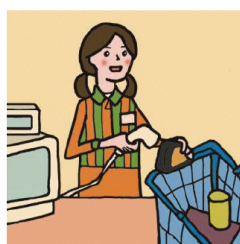
障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



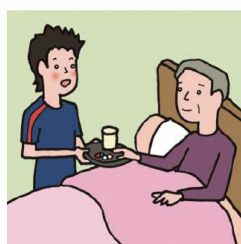
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



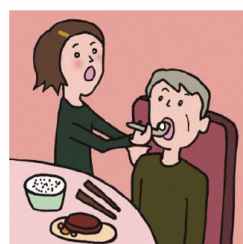
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

ヤングケアラーに気づくポイント

ヤングケアラーの問題は家庭内の問題であり表に出にくいとされています。

しかしながら、少しの違い・変化に気づく、視点を変えるなどから見えてくることがあります。

「きっかけの例」を参考に状況を把握しましょう。

ヤングケアラーではないか?と気づくきっかけの例

教育・保育 (学校、保育所等)

- 本人の健康上に問題がなさそうだが欠席が多い、不登校である
- 遅刻や早退が多い
- 保健室で過ごしていることが多い
- 提出物が遅れがちになってきた
- 持ち物がそろわなくなってきた
- しっかりしすぎている
- 優等生でいつも頑張っている
- 子ども同士よりも大人と話が合う
- 周囲の人に気を遣いすぎる
- 服装が乱れている
- 児童・生徒から相談がある
- 家庭訪問時や生活ノート等にケアをしていることが書かれている
- 保護者が授業参観や保護者面談に来ない
- 幼いきょうだいの送迎をしていることがある

高齢者福祉 (高齢福祉事業所、地域包括支援センター、自宅等)

- 家族の介護・介助をしている姿を見かけることがある
- 日常の家事をしている姿を見かけることがある

障害福祉 (障害福祉サービス事業所、基幹相談支援センター・相談支援事業所、自宅等)

- 家族の介護・介助をしている姿を見かけることがある
- 日常の家事をしている姿を見かけることがある

生活保護、生活困窮 (福祉事務所、生活困窮者自立支援機関、自宅等)

- 家族の介護・介助をしている姿を見かけることがある
(生活保護担当職員による対応時等)
- 家庭訪問時や来所相談時に常に傍にいる

医療 (病院、診療所、自宅等)

- 家族の付き添いをしている姿を見かけることがある
(平日に学校を休んで付き添いをしている場合等)
- 来院時の本人の身なりが整っていない、虫歯が多い
- 家族の介護・介助をしている姿を見かけることがある
(往診時等)

地域

- 学校へ行っているべき時間に、学校以外で姿を見かけることがある
- 毎日のようにスーパーで買い物をしている
- 毎日のように洗濯物を干している
- 自治会の集まり等、通常大人が参加する場に子どもだけで参加している
- 民生委員・児童委員による訪問時にケアの状況を把握する
- 子ども食堂での様子に気になる点がある